

台湾周遊

私ども夫婦の恒例行事であるラナウでの避寒に行く途中で、今年は台湾に降機し同島を電車で周遊しました。出かけるに先立ち参考資料に挙げた本を読み、この国の複雑な事情を多少とも理解すると同時に日本との過去の深い関わり合いに無知でいたことに恥じ入った次第です。今回の訪問の目的は、この国への理解を深めることと避寒に適しているかを知ることでした。

1/13

初めてスクート航空に乗るので要領が分からず、とにかく空港に早く行くことにしました。成田から搭乗する場合この航空会社は web チェックインサービスを提供していません。搭乗手続きは出発の3時間前から開始されました。約1時間遅れて15:30に台湾桃園国際空港ターミナル1に到着しました。1/22の朝、エアアジアでターミナル2からコタキナバルへ向かうので、一時預けをする荷物をターミナル2で預けることにしました。今回の旅行では、私も家内も大小2個のスーツケースとキャディーバッグを所持しました。小さなスーツケースを台湾周遊中に利用し、大きなスーツケースとキャディーバッグは、空港で預けました。ターミナル間はスカイトレーンを利用すれば数分で移動できます。日通の台湾ペリカン便が一時預かりサービスを提供しており、1階の到着ロビーで預けて、3階の出発ロビーで受け取るシステムになっています。預け料金は荷物の寸法と重量できまります。スーツケースは25kg以下だと1日100元、キャディーバッグは150cm以上であり1日200元かかります。10日間の預け料金が6,000元にもなったことは想定外でした。

バスで高鉄桃園駅に向かい、高鉄台南駅まで新幹線を利用しました。シニア料金は座席指定込みで650元/人です。自動改札口では券面の裏側を上にして挿入することになっており、まごついていると他の客が教えてくれました。高鉄台南駅から台鉄台南駅（シニア料金13元/人）まで台鉄沙崙線を利用し25分位要しました。台鉄駅前の台南大飯店に20:00頃チェックイン。

近くの屋台もどきの店でラーメンのようなもの（焼又烏龍麵）を夕食として摂りました。

1/14

車を3時間チャーター（1,500元）して、10:00にホテルを出発。七股塩山と塩山博物館を見学後、安平地区に行き、徳記洋行・安平樹屋を見物しました。同建物はイギリスの貿易商社跡であり、歴史



的価値があるのでしょうか、それ以上に建物全体を飲み込むかのように生い茂ったガジュマルの巨木に圧倒されました。オランダと鄭成功の拠点であった安平古堡を覗いた後、台南地区に戻り、粽で有名な再発号で遅い昼食を摂りました。ここで車を返し、神農老街、大天后宮、赤崁楼を徒歩で見物。台南には台湾の歴史的遺産がたくさん存在します。

台南は北回歸線の南側にあり定義では熱帯ですが、朝晩は 15 度、日中は 18 度しかなく、風が強かったので意外に寒く感じました。

1/15

朝 8:00 頃 13 度しかなかったけど、日中は 24~25 度位まで気温が上がり、長袖を重ね着していたので暑く感じました。



ホテルの前の郵便局の ATM でキャッシングしようとしたが上手くいかず、窓口で両替をしました。

9:00 にチャーターした車に乗り、烏山頭へ。八田與一がコンクリートの使用を最小限に押さえて（セミ・ハイドロリックフィル工法で）建設したダムは、80 年以上たった今日でも土砂で埋まることなく大量の水を溜め込み、嘉南平野を潤しています。不毛の地であった同平野は一大農業地帯に変貌したそうです。與一の銅像の前で彼の偉大なる業績に敬意を表し、13:00 に台南に戻り、4 時間のチャーター代金 1,800 元を支払いました。

昼食後、孔子廟、大南門などを見物後、ホテルで荷物をピックアップして台鉄で高雄へ向かいました。

料金（敬老）は、ひとり 53 元、自強号（特急に相

当）で 35 分の距離です。高雄に到着後、1/17 の花蓮に向かうための切符を購入。希望した高雄 12:40 発が売り切れで 10:40 発自強号の切符を確保。敬老料金は適用できないということで、ひとり 707 元を支払いました。

駅の傍のホテルにチェックインして、六合国際観光夜市に出かけ現地の人に混じって屋台で夕食を済ませました。

1/16

ホテル近くの食堂で朝食として小籠包と温かい豆乳を摂りました。高雄 MRT パスカード（公共交通機関のプリペイドカード）に料金をチャージし、MRT とバスを利用して高雄市内を観光しました。最初に訪れたところは、台湾糖業博物館です。ここでは新渡戸稲造の台湾糖業発展への貢献が称えられ胸像が飾られていました。見学後、名物のアイスクリームを食べました。バニラ

アイスの上にたっぷり甘い茹で小豆が載っているというものです。次に蓮池譚, 駁二芸術特区, 歴史博物館, 高雄 85 ビルなどを訪れました。駁二芸術特区は斬新な作品がたくさん展示されており面白い場所です。歴史博物館は, 二・二八事件(日本の敗戦後大陸から来た外省人と台湾人(内省人)の40年に渡る抗争のきつ



かけになった事件であり, これを契機に外省人による不当な弾圧が続く)に関わる事項を多く展示していましたが, 殆どの説明文が中国語であり館内を素通りしました。高雄 85 ビルの展望フロア(海拔 300m)から高雄市街を 360 度見渡すことができます。65 歳以上には敬老料金が適用され, 展望フロアに上がる料金はひとり 150 元です。夕食は瑞豊夜市で摂りました。この夜市の方が六合より規模が大きいけど, 六合の方が活気に満ちているように感じました。何れにしてもこのようなところで食事をすれば美味しくて安上がりですみます。

1/17

駅弁を買って台鉄自強号で花蓮へ。約 5 時間の列車の旅。花蓮到着後インターネットで予約しておいた 1/19 の切符(花蓮→台北)を窓口で受け取り, タクシーで花蓮・馨憶民宿へ。同民宿のオーナーは花蓮を愛する日本人です。今回の旅行の計画時にメールを介して有効な情報をいただきました。花蓮を訪れるときには, この民宿を利用されるとよいと思います。アトホームなこじんまりしたホテルをイメージしてください。

本格的中華料理店(竹陽海鮮店)に行き, マンボウ料理など少し贅沢な夕食(二人で 1,000 元)を摂りました。マンボウを食べるのは初めてであり, 柔らかい烏賊のような食感です。

民宿のオーナーに高粱酒(58 度)をご馳走になりながら歓談しました。高雄から花蓮までの台鉄で敬老料金が適用されなかったことを尋ねたら, 外国人には適用されないのが原則である, ということでした。

1/18

民宿のオーナーに太魯閣を案内していただきました。料金は, ひとり 1,500 元。雄大な溪谷美を堪能することができ, 一見の価値があります。太魯閣には日本統治時代の遺跡がいくつか残っています。また, 文天祥の「正気之歌」を刻んだ大きな石碑がありました。この歌は, 藤田東湖, 吉田松陰, (日露戦争のときの) 広田武夫に強く影響したそうです。

1/19

6:10 発のタロコ号で台北へ。タロコ号は全席指定で、人気があり、なかなか切符が取れないそうです。2週間前に発売されるので、1/5 に日本からネットを介して予約しました。2週間前



でしたが AM10:00 頃予約しようとしたら 昼間に出る列車は満席でした。止む無く早朝発を確保し、お蔭で早く台北に着くことができ一日を有効に過ごせました。悠遊卡 EASYCARD (公共交通機関のプリペイドカード) にチャージした後、ホテルにチェックインして荷物を預け、故宮博物館、淡水の紅毛城を見学。夕食は士林観光夜市で撮りました。夜市の食堂街は地下にあり、熱気と人の多さに圧倒されました。

1/20

MRT (地下鉄)、バスを乗り継ぎ、九份、基隆を訪れました。帰りは基隆から台鉄を利用。台北に戻って、台北 101 の展望台へ。夕食は饒河街観光夜市で撮りました。

1/21

開店 (AM10:00 前) に合わせて。有名な鼎泰豊で小籠包を朝食として食べました。前菜のキャベツの浅漬けも美味しかった。当店でラナウの知人に鳳梨酥 (パイナップルケーキ) のお土産を購入しました。秋葉原の電気街のような光華數位新天地を見学し、Bluetooth イヤホンを購入しようとしたのですが、中文のマニュアルしか添付されておらず止めました。次に總統府を訪れたが、AM11:30 を過ぎており、中に入れてもらえませんでした。一旦、ホテルに戻り、近くの自助餐で昼食を済ませ、国立台湾博物館を見学。関心のあった台湾の原住民族に関する展示を見ることができました。児玉源太郎と後藤新平の立像が館内の目立つ場所に設置されていました。台湾周遊の疲れを感じたので、後の予定を中止してホテルで休息することにしました。

深夜、火災報知機が鳴り響き、一度目はすぐに止ま



りましたが、それから 10 分後位に二度目が鳴り、今度はなかなか止まらない。ドアを開けてエレベーターホールに出ると台湾の人がいたので状況を尋ねました。報知器が「火事だ」「火事だ」と連呼しているとのこと。フロントに行き問い質したら 10 階の機械室で小火が出たが「もう大丈夫だ」ということでした。私どもの部屋は最上階の 12 階であり、心配だったのでいつでも飛び出せるように着衣して就眠しました。

1/22

高鉄台北 (AM6:30 発) から高鉄桃園へ向かい、バスに乗り空港第二ターミナルで下車。預けていた荷物を受け取り、エアアジアのチェックインの列に並びました。予め web チェックインをしていたので短時間で済むと思っていたけど大間違いでした。web チェックインをした人と空港でチェックインする人が同じ列に並ぶことになっており、チェックインに小一時間要しました。いろいろな空港でエアアジアに搭乗したけど、このようなやり方は初めてです。十分に余裕をもってホテルを出たにもかかわらず出発間際に搭乗ゲートに着くことになり朝食をカットせざるを得ませんでした。空港には余裕を持って行くに限ることを再認識しました。

初めての台湾旅行が終わりコタキナバルへ向かう機内でこの記事を書いています。台湾の人々は実に親日的です。明治から昭和初期にかけての偉大な先達がこの国に果たした業績のお蔭だろうと推察します。

弱い者を庇うしきたりが当たり前のように電車やバスの中で席を譲ろうとされたし、そのような光景を何回も目にしました。また、荷物を運ぶ手伝いをしてもらったこともあります。お願いしないのに進んで手を貸してくれます。私自身年寄扱いされるのはあまり嬉しくありませんが、このような風習が行き渡っていることに感心します。

同じ中国語を喋る大陸の人々と比べて騒々しくなくマナーを守る人が多いように感じました。電車の乗降や博物館の入場などに際して列を乱す人を見かけませんでした。電車内で子供が床にこぼした水を父親が丁寧に拭き取っていました。

台湾には四季があり、日本が寒い時には当地も寒いようです。この時期の気候は日本の 12 月上旬と同じ位に感じました。T シャツで過ごそうと思っていたことは大きな誤算でした。

物価は安く、特に食事代は日本の半分程度です。そのまた半分が今から行くラナウです。夜市や自助餐を利用すれば安くて美味しいものが食べられます。バス、電車、タクシーなどの交通費も安く、高鉄（新幹線）は外国人にも敬老料金（65 歳以上）が適用されるので料金が半額になります。

高雄や台北では公共交通機関のプリペイドカード（高雄 MRT パスカード、悠遊卡 EASYCARD）を利用すると MRT（地下鉄）やバスの乗り降り時の料金支払いが簡便になります。台北から九份に行くバスや高鉄桃園と桃園国際空港を結ぶシャトルバスでもこのカードを使用することが

できます。

成田を出発してコタキナバルに到着するまでに要した夫婦二人分の費用は、約 250,000 円でした。この内、航空運賃が 83,000 円、ホテル代が 46,000 円、荷物の預け料金が 21,000 円、現地交通費、食費、お土産物代の合計が 100,000 円です。

スクート航空（成田→台北）、エアーアジア航空（台北→コタキナバル）のチケットはネットで購入しました。ホテルは、民宿以外は AGODA（ネット上のホテル代理店）で予約し、民宿は直接メールで予約しました。列車は、人気の高いタロコ号（花蓮→台北）だけネットで予約し、残りは現地の窓口で購入しました。

参考として添付した旅程表、ホテルリスト、情報源もご参照下さい。

駆け足で台湾を周遊してこの国に関するいろいろな事柄を体得することができました。避寒を目的に訪問することは適切でないとは思いますが、治安がよく、物価が安く、食べ物が美味しいので、さらに理解を深めるためにいつか気候の良い時期に長期滞在してみたいと思います。

参考資料 1 旅程表

Date		移動手段	From		To	
1/13	月	空港バス	本厚木	6:10	成田 T2	8:25
		TZ201	成田 T2	11:50	桃園空港 T1	15:30
		バス	桃園空港 T2	約 20 分	高鐵桃園	
		高鐵 729	高鐵桃園	17:57	高鐵台南	19:18
		台鉄沙崙線	高鐵台南	約 25 分	台鉄台南	
1/14	火	七股塩山, 塩山博物館, 徳記洋行・安平樹屋, 神農老街, 大天后宮, 赤崁楼				
1/15	水	烏山頭, 孔子廟, 大南門				
		台鉄 121	台南	15:18	高雄	15:53
1/16	木	蓮池潭, 駁二芸術特区, 歴史博物館, 高雄 85 ビル, 瑞豊夜市				
1/17	金	台鉄 229	高雄	10:40	花蓮	15:56
1/18	土	太魯閣				
1/19	日	台鉄 203 夕口コ号	花蓮	6:10	台北	8:16
		故宮博物館, 淡水 (紅毛城), 士林觀光夜市				
1/20	月	九份, 基隆, 台北 101, 饒河街觀光夜市				
1/21	火	鼎泰豊, 光華数位新天地, 総統府, 国立台湾博物館				
1/22	水	高鐵 603	台北	6:30	高鐵桃園	6:50
		バス	高鐵桃園	7:00	桃園空港 T2	7:50
		AK1519	桃園空港 T2	9:50	KK 空港 T2	13:15
		TAXI	KK 空港 T2	14:30	ラナウ	17:00

T1:Terminal 1, T2:Terminal 2, KK : Kota Kinabalu

参考資料 2 ホテルリスト

地域	ホテル	チェック イン	チェック アウト	電話番号
台南	Tainan Hotel 台南大飯店	1/13	1/15	+88662289101
高雄	Life Hotel 拉斯雄嘉 Life 商旅	1/15	1/17	+88672358121
花蓮	花蓮・馨憶民宿	1/17	1/19	+886928076750
台北	Look Hotel 台北樂客商旅	1/19	1/22	+886223709988

参考資料 3 情報源

D10 地球の歩き方 台湾 2013~2014 地球の歩き方編集室 (2013/3/16)

台湾—四百年の歴史と展望 (中公新書) 伊藤 潔 (1993/8/25)

街道をゆく (40) (朝日文芸文庫) 司馬 遼太郎 (1997/5)

李登輝訪日 日本国へのメッセージ—2007 旅と講演の全記録 日本李登輝友の会 (2007/11)

台湾人と日本精神(リップンチェンシン)—日本人よ胸をはりなさい (小学館文庫) 蔡 焜燦 (2001/8)

新・ゴーマニズム宣言 SPECIAL 台湾論 小林 よしのり (2000/10)

台湾を愛した日本人(改訂版) -土木技師 八田與一の生涯- 古川 勝三 (2009/4/30)

台湾に生きている「日本」 (祥伝社新書 149)

「武士道」解題—ノーブレス・オブリージュとは (小学館文庫) 李 登輝 (2006/4)

台湾観光協会ホームページ <http://www.go-taiwan.net/>

東京事務所 電話 03-3501-3591 大阪事務所 電話 06-6316-7491

台湾高速鉄道ホームページ <http://www5.thsrc.com.tw/jp/>

交通部臺灣鐵路管理局ホームページ <http://railway.hinet.net/>

馨憶精緻民宿ホームページ <http://shinyi.net/>

新高山会たより

<http://blog.goo.ne.jp/kubota9474/e/27ab3a46e63fc999566a4f9b80a7637f>

AGODA ホームページ <http://www.agoda.com/ja-jp>